

状況の変化に応じた公共施設整備の見直しについて

まちづくり政策課

【概要】

中津市では、国（内閣府所管）の地域再生制度を活用して、山国町守実地区に生活・福祉サービスを集め、周辺集落とコミュニティバス等の交通ネットワークで結ぶ「小さな拠点」形成を図るため、昨年度から準備を進めてきました。

その中でも、複合施設となる福祉・買い物センター「かかしの郷」（仮称）整備について、以下のような状況の変化に対応して整備計画の一部を見直しすることとしました。なお、今回の見直しにより事業費約3千万円が節減できます。

【状況の変化】

買い物センター「みんなのお店」については、地域の要望を受け平成27年6月1日から「コアやまくに」物産館を活用して営業（営業時間：10時～19時、定休日：日曜日）を開始しており、平成28年度中の複合施設完成後に移転する予定でした。

ところが、「みんなのお店」と同じ建物を活用している「大分県信用組合山国出張所」が、6月25日の大分県信用組合総代会において閉鎖することが決定されたため、7月22日には、店舗存続要望を大分県信用組合宛てに提出しました。

その後、8月18日に中津市に対し、大分県信用組合から「11月6日（金）までの営業として、12月には市に店舗を明け渡す。」旨の回答が届きました。

こうした状況の変化を受け、買い物センターについては、大分県信用組合跡を改修して売り場面積等を拡張（現在の56㎡から112㎡に）することも可能となったため、新設する場合と改修する場合の住民の利便性、節減可能な事業費等を総合的に検討した結果、異例ではありますが事業内容を見直し、現在の場所で改修・拡張することとしました。

なお、「かかしの郷」は、引き続き買い物センター機能を除いた福祉センターとして予定通り整備を進めます。

